

雲北陵月報

No. 461

令和6年1月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



年頭にあたって

高校教頭 森本恭一

(1) 第461号

新年あけましておめでとうございます。令和6年がスタートしましたが、1月1日に能登半島地震が起り、大変な一年の幕開けとなりました。私自身、阪神淡路大震災で被災し、震度7を経験しましたが、その揺れは想像を絶するものです。その時が人生でただ一度だけ死を覚悟した瞬間でした。ニュースで能登半島の町の様子が映し出されると、震災直後の神戸の町と酷似していることも多く、被災された方々の心中を察するに、一日も早く元の生活ができるよう願うほかありません。また、災害のために命を落とされた方々へ、心よりご冥福をお祈り致します。

ある「甲辰」には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよい意味があるそうです。また、名前に「龍」の文字が入る龍馬が頭に浮かびます。司馬遼太郎さんの歴史小説「竜馬がゆく」は有名ですね。この小説は私自身、20歳の時に夢中で読んだ記憶があります。その小説の中で、坂本龍馬は、悩んでいる暇があれば次に何をするか考へるといふ時間の使い方と旺盛な行動力で難しい局面を次々に乗り越えていく様子が描かれていました。その生き方に強い共感を覚えたのですが、「悩む暇があったら次に何をするかを考える」という心持ちは、令和の時代にも通用するものだと思います。

坂本龍馬のような心持の若者が中心となつて近代日本は誕生しました。そして現在に至るまで、日本には様々な困難や失敗もあったわけですが、そのたびに立ち上がり、乗り

越えてきました。その時の成功の芽は、現在も姿を整えながら成長している最中だと思えます。本校は今年創立115周年を迎えますが、本校においても明治から令和にわたつて、「柔しく剛く」の校訓のもと、姿を整えながら成長してきたと感じられます。今年も中学生や高校生の皆さんとともに、柔しく剛く歩んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

23rd WINTER CUP 報告

男子バスケットボール部

第76回全国高等学校

バスケットボール選手権大会

時 12月23〜29日

於 東京体育館

1回戦 本校 79-90 新田(愛媛)

○大会総評

4年ぶり11回目の出場となった初戦は、愛媛県代表新田高校との対戦となった。

試合序盤から相手にペースを握られ、第1ピリオド27-16とリードを奪われた。第2ピリオドは攻守の細かい部分を修正して点差を詰め、44-38と6点ビハインドで前半を折り返した。

第3ピリオド序盤5分のところで同点もしくはリードを奪えればと望んだが、逆に相手にペースを奪われ走られた。インサイドで体を最後



まで当て続けられリバウンドを取られた。我々がやりたバスケットをされ、結果90-79で惜しくも初戦敗退となった。アウトサイドで弱点を補おうとしたが、要所でシュートが決まらず、相手にゴールに切り込まれシュートを決められた。

しかし、選手たちは島根県代表として初めての東京体育館のコートで堂々と戦い、全国の舞台で出雲北陵のひたむきな心を大いにアピールすることができた。

3年生を中心に本番に向けて部員全員で練習を積んだこと、素晴らしい環境で試合ができたこと、全行程も含めて彼等と過ごした時間はかけがえないものとなった。

全国で勝利を掴めるよう、次のインターハイ、ウインターカップに向けて、新チームを鍛え直し、もう一度全国の舞台で勝負したいと思う。

大会へ出場するにあたり、校長先生をはじめ教職員の皆様、女子バスケットボール部員、保護者の皆様から温かいご支援をいただき誠に有難うございました。今後とも変わらぬご声援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(顧問 手島幹人)

男子バスケットボール部

令和5年度島根県高校新人大会

時 1月12～14日
 於 松江工業高校体育館 他

2回戦 本校 86-44 浜田高校
 準々決勝 本校 75-60 松江工業
 準決勝 本校 61-84 松江東
 3位決定戦 本校 79-47 益田
 3位
 ベスト5 原 維吹(15北)

○大会総評

今シーズン最初の県大会が松江市にて開催された。本校は2回戦からの出場となった。昨年末の全国大会まで3年生を中心にチームを編成していたため、苦しい展開を覚悟して今大会に臨んだ。

準々決勝まで危なげなく勝ち上がったが、準決勝の松江東戦は序盤から離され常に追いかける展開で24点差と惨敗した。最終日の3位決定戦では、最後まで粘り強く戦い、益田に快勝し、来月、山口県で開催される中国新人大会へ島根県代表として出場することが決定した。2年連続の優勝へは届かなかったが、この悔しさを胸に中国大会、6月の県総体に向けて、更に成長したチームで戦えるよう、日々の学校生活や練習から多くを学び精進していきたい。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、学校教職員の皆様、保護者の皆様に応援していただきましたこと感謝申し上げます。
 (顧問 手島幹人)

女子バスケットボール部

令和5年度島根県高校新人大会

時 1月12～14日
 於 松江商業高校体育館 他

2回戦 本校 82-23 出雲西
 準々決勝 本校 55-82 松江商業

5位決定戦 本校 69-66 松江南
 5位

○大会総評

松江商業との試合では、前半からミスが多く見られ、中々シュートを打つことができなかった。リードされて迎えた後半では徐々に良くなってきたが、前半の得点差が響き悔しい敗戦となった。チーム全体のレベルアップが必要だと痛感した。この冬しっかりと走り込みたい。当日は保護者の皆様や卒業生から応援いただき、誠に有難うございました。
 (顧問 篠原勝利)

卓球部

第51回全国高等学校卓球大会

時 12月23～25日
 於 ジップアリーナ(岡山)
 中国地区予選会

中国選抜2年ぶり7回目の優勝！ 全国選抜出場決定！

【男子団体】

〈予選リーグ〉
 本校 3-10 玉野光南(岡山)
 本校 3-10 誠英(山口)
 〈決勝リーグ〉
 本校 3-10 近大福山(広島)
 本校 3-10 倉敷工業(岡山)
 本校 3-10 松徳学院(島根)
 本校 3-10 柳井商工(山口)
 本校 3-10 鳥取敬愛(鳥取)
 本校 2-13 吳青山(広島)
 本校 3-11 関西(岡山)

○大会総評

レギュラー選手だけでなく、ベンチメンバーもチームの勝利のために全力を尽くし、まさに「全員卓球」で掴んだ優勝であった。吳青山に敗れはしたものの、次戦に向けてすぐに気持ちを切り替えて、



本校らしい粘り強い卓球で難局を乗り切ることができた。3月に山形県で開催される全国選抜大会でも上位に進出できるように頑張りたい。
 (顧問 古瀬泰之)

第33回西日本高校選抜卓球大会

時 1月4・5日
 於 松江市総合体育館

【男子団体】

1位リーグ
 優勝 島根国体選抜
 (本校生徒2名及び他校2名)

2位 出雲選抜(本校生徒4名)
 3位 出雲北陵

○大会総評

新年最初の大会であったが、それぞれの課題が多く見つかった。今後の練習で克服していきたい。(顧問 相場翔太)

男子ソフトテニス部

第14回中国高等学校ソフトテニス新人大会

時 1月12～14日
 於 福山市総合体育館

リーグ 1勝1敗 2位通過で決勝トーナメントへ ベスト8

本校 1-2 神辺旭(広島)
 本校 2-1 岩国工業(山口)
 決勝トーナメント

本校 1-2 米子工業(鳥取)

【団体メンバー】伊藤快(24北)、高橋海璃(23北)、川角光夢(13北)、岡田隆聖(14北)、田邊航汰(21北)、田中広人(26北)、板垣優吾(24北)、桑原佳吾(15北)

○大会総評
 新チームとして初めての県外大会、悔

しい結果となったが、マッチポイントを取れずに敗れた試合もあるなど、課題を含め、今後に繋がる大会となった。春、夏の大会に向けて更に精進していきたい。保護者の方には遠方まで応援に来ていただき、有難うございました。
 (顧問 佐々木雄志)

女子ソフトテニス部

第49回全日本高校選抜ソフトテニス大会中国地区予選

時 1月12～14日
 於 福山通運ロースアリーナ

1位校リーグ

本校 1-2 米子松陰
 本校 3-10 就実

本校 3-10 広島翔陽
 本校 0-3 小野田
 2勝2敗 3位

代表決定戦

本校 2-10 山陽学園

【団体メンバー】水永花音(25北)・岡本涼香(25北)・川角莉子(25北)・栗原奈々(15北)・木村香夏(23北)・森山音羽(25北)・杉谷阜(13北)・高野愛未(14北)

○大会総評

県代表の権利を獲得後、様々な陣形のテニスに挑戦し幅を広げながら準備してきた。3位決定戦までは上がることができたが、最終戦は中盤以降、一方的な展開で敗れ、全国大会の権利を獲得することはできなかった。この経験をしっかりと今後につけていきたい。
 (顧問 金森 快)



美術部

環境大臣賞受賞!!

愛鳥週間ポスター原画コンクール(全国審査各都道府県代表101点の応募がある中、島根県代表として出品した陶山和夏(27歳)の作品が、最優秀賞(総裁賞)に次ぐ6点のうちの一つである「環境大臣賞」に選ばれた。県勢では11年ぶり、本校では初となる。卓越した描写力でアカシヨウビンの美しさを表現するとともに、背景にモダンテクニクを用い、さわやかな清流のイメージを表現したことが高く評価された。

なお、県内での展示は5月10日から六道湖グリーンパークにて展示予定である。



「環境大臣賞」陶山和夏



一斉書写

時 1月10日

新年の決意を新たに、今年度3回目となる「一斉書写」を1月10日に実施した。3年生にとっては最後となる本校の伝統行事であったが、それぞれが集中して取り組み、貴重な時間を過ごすことができた。生徒たちの今後の更なる活躍、飛躍を期待したい。

出雲北陵高等学校OB吹奏楽団 第1回定期演奏会

時 1月7日
開場13時20分 開演14時
於 大社文化プレイスうらら館



一昨年4月に、本校吹奏楽部創設者である片寄哲夫先生がお亡くなりになり、先生からご指導をいただいた卒業生を中心に、昨年の3月に「片寄哲夫先生を偲ぶコンサート」を開催した。コンサートに集った卒業生から、今後も卒業生でのコンサートをしたいと片寄先生を偲びたいとの強い要望があり、OB会の活動としてこの演奏会が企画された。

平成3年に創設された吹奏楽部の卒業生は、本年3月卒業生が31期となり、60名を超える会員が在籍している。出演したメンバーには、遠くは北海道・東京から参加した者もあり、総勢60名を超えるバンドでの演奏会となった。

当日は500名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裏のうちに無事終了することができた。

多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも片寄先生からの教えを胸に、母校並びに本校吹奏楽部の活動の一助となるよう、活動していきたいと考えている。今後とも本校吹奏楽部OB会の活動にご理解ご支援のほどよろしく願います。

出雲北陵高等学校吹奏楽部OB会
会長 山本真也

創立者 水谷キワ先生 命日 墓参

本校創立者水谷キワ先生の命日である1月16日(火)、生徒を代表して中学新生徒会長福田光誠(中2)、高校新生徒会長村中悠海(25)ら6名で大念寺を訪れ墓参をした。本年は学園創立115周年を迎える節目の年でもあり、新生徒会として出雲北陵中学・高等学校の更なる発展に向け改めて決意を強くした。

乙案内

美術・CGデザインコース

第23回卒業制作展

日 時 2月10日(土)
9時~17時
2月11日(日・祝)
9時~16時
場 所 出雲文化伝承館
緑結び交流館(出雲市浜町520)
入場料 無料
多数のご来場をお待ちしています!

音楽コース

本校音楽コースが左記のコンサートを開催致します。皆様のご来場を関係者一同心よりお待ちしております。是非お越しください。

第31回卒業演奏会

日 時 2月10日(土)
昼の部 13時30分開場
夜の部 14時開演
場 所 ビッグハート出雲

入場料 無料 ※整理券が必要ですが白のホール

中学校

美術科

NHK「SDGsかるたコンテスト」

中国ブロック最優秀賞受賞

NHKが主催する「みんなであつくりようSDGsかるたコンテスト」2学期大会において、田中美那(中3)の作品が中国ブロック最優秀賞に、岩崎彩(中3)の作品が優秀賞に選ばれた。



田中さんの作品 「か」
「かじょうおいしいごはんのありがたみ」

最優秀賞の田中さんの作品はSDGs 17の目標のうち目標2(飢餓をゼロに)をテーマに、豊かな国の子どもとの対比を描くとともに、満足にご飯を食べられる人々へのメッセージを表現している。世界の現状や自分たちができることは何かを訴えた素晴らしい構成と描写が評価され、本校としては初出品、初受賞となった。(美術科 小田川 純)

第3回 校外講師特別講座



時 12月19日
於 中高棟ホール
2学期末保護者会に併せ、出雲大社かたりベガイドの会、事務局長の早川正樹様をお招きし、「楽しかった!」のひと言が聞きたいという演題で講演会を開催した。早川様は出雲大社などのガイドを通して、観光の意

味やガイドの工夫、出雲大社と他県とのつながり等についてお話いただいた。また今回の講話では、我々が知らなかった出雲大社の秘密にも触れられ、改めてこの出雲を誇りと思える時間となった。

作品と研究

中学校書初め作品より

例年、年明けの書写の時間に、中学校では書き初めを実施しています。

本年度も、生徒一人ひとりが今年ほどのような年になるのか、またどのような年にしたいのかを考え、今年の日標や抱負、大切にしたい言葉を書きました。一年生は初めてとなる行書でしたが、真剣に取り組んでいました。作品の一部を紹介したいと思います。

作品①

自信

土江 一心(中3)

この「自信」という言葉を選んだ理由は、僕が自分に対してあまり自信が持てないからです。四月に中学校に入学しましたが、自分の行動や発言に自信が持てずに生活してきました。だから、今年自分の行動や発言に自信を持てるようになりたいと思っています。特に部活動では、周りに分からないように心の中で弱音を吐き、プレーしていたこともありましたが、これからは、自信を持って、自分なりたいと思えるようにプレーをしていきたいと考えています。

作品②

両立

田中 七海(中3)

僕は、勉強と部活動を両立させるという目標で出雲北陵中学校に入学しました。だけど、勉強はできていないし、部活動のバスケットボールも注意をされたり、真面目に集中できなかったりでした。だから、今年は頑張れたらいいなと思っていました。勉強は一時間、一時間を丁寧に集中して、取り組みたいと思います。バスケットボールは、二時間の練習を集中して全力で取り組みたいと思います。両立という言葉を選びました。

作品③

挑戦

宮國 蒼来(中2)

この言葉にした理由は、今年はいくつものことに挑戦したいからです。私は新しいことに挑むとき、どうしても怖いという気持ちになってしまいます。一度そう思うと、足が動かなくなってしまう、行動に移すことができなくなります。だから、自分から挑戦することが減ってしまっていました。しかし、振り返ってみて、挑戦しなければ何も始まらないことが分かりました。今年、中学校最後の年なので、充実した一年にするためにも多くのことに挑戦します。

作品④

成長

和田涼太郎(中2)

僕は、今年大切にしたい言葉を「成長」にしました。去年は、部活動でも勉強面でも自分に負けてしまったと思っていました。だから、何事にもやる気を持ち、常に成長していきたいと考え、「成長」を選びました。僕は、やる気がある時とない時があり、ない時は何をやってもうまくいきません。このようなことにならないよう、気持ちを切り替え、日々成長できるような人になりたいです。

作品⑤

継続

北野 亜門(中3)

僕は、今年「継続」を頑張りたいと思います。なぜなら、何事にも継続することです。力になると思ったからです。今、勉強に毎日少しずつ取り組んでいます。その時に「一日なら、ちよつとなら」と思ってしまうことがあります。しかし、そのようにしていても力が付くわけではないので、毎日継続することを大切にしたいと思います。だから僕は今年、「継続」ができるように頑張っていきたいと考えています。

作品⑥

昇竜

永井 初樹(中3)

今年がどのような年になるのかと考えていたとき、竜という文字が入っている「昇竜」という言葉を見つけられて、嬉しく思っています。なぜ、竜のつく熟語を探していたかというと、今年の干支が辰だからです。竜の字のつく言葉は少なく、「昇竜」を見つけ出せたとき、ほっとした気持ちになりました。意味も漢字どおりで分かりやすく、明るい意味です。今年が「昇竜」のような勢いのある年になればいいと思います。

今月の1枚「記録」

第56回島根県高校美術展選抜作品

布野陽菜佳(1-6)

